



学び、共に生きること  
アフリカの『いのち』に寄り添い、



2019.10.11 Fri. 15:00-17:30 ■ 申込期限: 10/7日  
■ 定員: 先着100名

@大阪大学豊中キャンパス国際公共政策研究科棟2階「OSIPP講義シアター」

懇親会: @大阪大学会館SSI豊中ラウンジ (参加費: 1,000円)

■主催: 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ (SSI基幹プロジェクト: アフリカの非正規市街地をフィールドとした持続型都市社会モデルの構築) ■共催: 大阪大学大学院国際公共政策研究科 ■後援: JICA関西

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的にも真理を追求するためのシンクタンクとして「社会ソリューションイニシアティブ(SSI)」を昨年4月に始動させました。SSIは「命を大切に、一人一人が輝く社会」を目指し、サロン、プロジェクト、シンポジウム等を通して、社会の様々なステークホルダーとともに取組みを進めています。

このたび、SSIの協力プロジェクトを経て7つ目の基幹プロジェクトとなった「アフリカの非正規市街地をフィールドとした持続型都市社会モデルの構築」(プロジェクトリーダー: 木多道宏教授)のキックオフシンポジウムに岡村善文大使をお迎えし、「アフリカの『いのち』に寄り添い、学び、共に生きること」をテーマに公開講演会を開催します。アフリカには人の生き方、共生のあり方を考えるための手がかりがあり、講演会においてそれを参加者の皆様と共有することにより、未来社会を構想するための機会としたいと思います。学内外の研究者、大学院生・学部生、企業や非営利組織、行政のみならずをはじめ、アフリカに関心のある多くの方々にお越しいただき、基調講演や報告を踏まえて、自由な対話をしたいと思います。

プログラム

<第1部> SSI公開講演会 (OSIPP講義シアター) 15:00~17:30

開会挨拶: 堂目 卓生教授 SSI長/経済学研究科

基調講演: 岡村 善文氏 国際平和貢献担当日本政府代表、アフリカ開発会議(TICAD)担当大使  
「日本人だから、アフリカの扉が開くー社会・文化の共感」

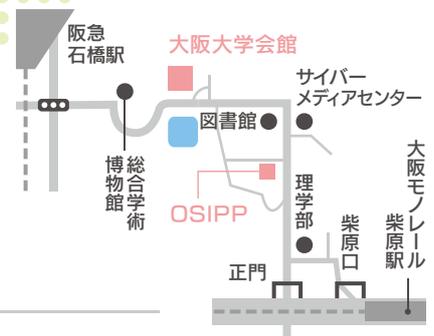
報告1: 木多 道宏教授 SSI企画調整室長/工学研究科  
「アフリカ・ガーナにおけるコミュニティの自律と継承」

報告2: HAWKINS, Virgil 准教授 国際公共政策研究科  
「アフリカとの貿易: よりフェアな関係へ」

休憩 (15分)

パネル・ディスカッション (モデレーター: 栗本英世教授 SSI副長/人間科学研究科)

<第2部> 懇親会 (大阪大学会館SSI豊中ラウンジ) 18:00~20:00



# 登壇者

基調講演：岡村 善文

国際平和貢献担当日本政府代表・アフリカ開発会議(TICAD)担当大使

テーマ： 「日本人だから、アフリカの扉が開くー社会・文化の共感」

コートジボワール大使(2008-2011年)、外務省アフリカ部長(2012-2014年)として、対アフリカ外交に従事。2013年、第5回アフリカ開発会議(TICADV)の開催に指揮をとった。2014年から2017年にかけて、国連代表部次席大使として、国連安全保障理事会におけるアフリカ関連の議題を担当。2017年6月より現職。

岡村大使は、平和と紛争の分野における長年の経験も有する。1994年、日本政府が派遣したルワンダ難民救援部隊の政府調整員としてゴマの駐屯地に勤務。1999年から2000年には、国連コソヴォ・ミッション(UNMIK)の首席政務官を務める。

1981年外務省入省。アルジェリア、イタリア、インド、フランス、ウィーン代表部を歴任。



●堂目 卓生 大阪大学大学院経済学研究科教授・SSI長・総長特命補佐

経済学博士(京都大)。専門は経済学史、経済思想。特に産業革命期イギリスの知性史に関心がある。The Political Economy of Public Finance in Britain 1767-1873 (Routledge, 2004) で日経・経済図書文化賞、『アダム・スミスー「道徳感情論」と「国富論」の世界』(中央公論新社、2008)でサントリー学芸賞を受賞。

●木多 道宏

大阪大学大学院工学研究科教授・SSI企画調整室長

報告1:「アフリカ・ガーナにおけるコミュニティの自律と継承」



博士(工学)。大阪大学大学院工学研究科建築工学専攻修士課程修了、株式会社日建設計、大阪大学工学部建築工学科助手等を経て、2012年より現職。専門分野は建築計画・都市デザイン。集落・都市における「地域文脈」を継承した計画とまちづくり、アフリカの非正規市街地・スラムの改善、大災害に対応した事前復興計画・まちづくりなど。

●HAWKINS, Virgil

大阪大学国際公共政策研究科准教授

報告2:「アフリカとの貿易:よりフェアな関係へ」



博士(国際公共政策)。NGOの一員としてアジア、アフリカで社会開発の事業に関わった後、現職。専門は国際政治であり、特に武力紛争とメディアの研究に取り組んでいる。主な著書は Stealth Conflicts: How the World's Worst Violence Is Ignored (Ashgate, 2008)。

●モデレーター：栗本 英世 (くりもと えいせい)

大阪大学 SSI 副長・副学長(学生生活担当)・大学院人間科学研究科教授

文学修士(京都大学)。専門は社会人類学、アフリカ民族誌学。南スーダンとエチオピアで長期間フィールドワークに従事。紛争、内戦、人道援助、平和構築等に関心がある。著書に、『民族紛争を生きる人びと』(世界思想社、1996)、『未開の戦争、現代の戦争』(岩波書店、1999)、編著に、『共生学が創る世界』(大阪大学出版会、2016)など。



## 参加申込方法

E-mailに「①お名前、②ご所属、③懇親会参加の有無」をご明記の上、  
下記アドレス、または右のQRコードから、参加ご希望の旨お知らせください。

■ 申込期限: 10/7

■ 定員: 先着100名

▶ 社会ソリューションイニシアティブ(SSI): E-mail: ssi@ml.office.osaka-u.ac.jp ◀

